

3 章・1 節 関数とグラフ

① 関数

② 2 次関数とそのグラフ

1 次の をうめよ。 [知]

(1) 関数 $y=f(x)$ において、変数 x のとり得る値の範囲を、この関数の **定義域** といい、 x がその範囲内のすべての値をとるとき y の値全体を、この関数の **値域** という。

また、その値域に最大の値、最小の値があるとき、これらをそれぞれこの関数の **最大値**、**最小値** という。

(2) $y=a(x-p)^2+q$ のグラフは、 $y=\text{a}x^2$ のグラフを、 x 軸方向に **p**、 y 軸方向に **q** だけ平行移動した放物線である。軸は直線 **$x=p$** 、頂点は点 **(p, q)** である。

また、この放物線は、 $a>0$ のときは **下** に凸、 $a<0$ のときは **上** に凸であるという。

2 次の をうめよ。 [図]

(1) $f(x)=2x^2+x-4$ のとき

$$f(-3)=2\times(\text{ }-3\text{ })^2+(\text{ }-3\text{ })-4=\text{ }11\text{ }$$

(2) $f(x)=x^2-2x+9$ のとき

$$f(a-1)=(\text{ }a-1\text{ })^2-2(\text{ }a-1\text{ })+9=\text{ }a^2-4a+12\text{ }$$

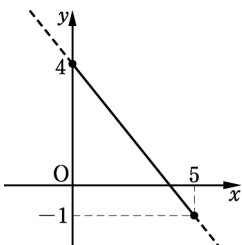
3 次の関数のグラフをかいて、値域を求めよ。また、最大値、最小値があれば、それを求めよ。 [技]

(1) $y=-x+4$ ($0\leq x\leq 5$)

[解] $0\leq x\leq 5$ における関数 $y=-x+4$ のグラフは右の図の実線部分である。
よって、求める値域は $-1\leq y\leq 4$

$x=0$ のとき **最大値 4**

$x=5$ のとき **最小値 -1**

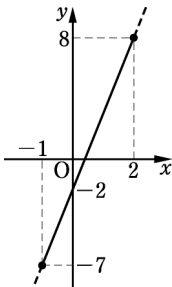


(2) $y=5x-2$ ($-1\leq x\leq 2$)

[解] $-1\leq x\leq 2$ における関数 $y=5x-2$ のグラフは右の図の実線部分である。
よって、求める値域は $-7\leq y\leq 8$

$x=2$ のとき **最大値 8**

$x=-1$ のとき **最小値 -7**



4 2 次関数 $y=3x^2$ のグラフを平行移動して、頂点を次の点に移したとき、それをグラフとする 2 次関数を求めよ。 [技]

(1) (2, 0)

[解] $y=3(x-2)^2$

(2) (4, -1)

[解] $y=3(x-4)^2-1$

5 次の 2 次関数のグラフの軸と頂点を求めよ。また、そのグラフをかけ。 [技]

(1) $y=x^2+4x$

[解] 与えられた 2 次関数は

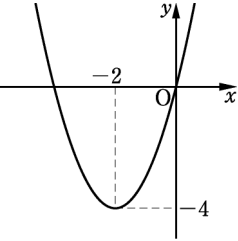
$$\begin{aligned} y &= (x+2)^2 - 2^2 \\ &= (x+2)^2 - 4 \end{aligned}$$

と変形できる。

よって、求めるグラフは

軸が直線 $x=-2$ 、頂点が点 $(-2, -4)$ の下に凸の放物線である。

また、グラフは原点を通るから上の図のようになる。



(2) $y=-4x^2+4x+1$

[解] 与えられた 2 次関数は

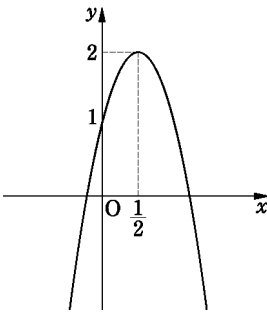
$$\begin{aligned} y &= -4(x^2-x)+1 \\ &= -4\left\{\left(x-\frac{1}{2}\right)^2-\left(\frac{1}{2}\right)^2\right\}+1 \\ &= -4\left(x-\frac{1}{2}\right)^2+2 \end{aligned}$$

と変形できる。

よって、求めるグラフは

軸が直線 $x=\frac{1}{2}$ 、頂点が点 $(\frac{1}{2}, 2)$ の上に凸の放物線である。

また、グラフは y 軸と点 $(0, 1)$ で交わるから、上の図のようになる。



(3) $y=\frac{1}{2}x^2+3x-\frac{1}{2}$

[解] 与えられた 2 次関数は

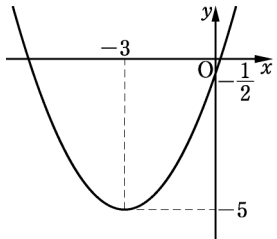
$$\begin{aligned} y &= \frac{1}{2}(x^2+6x)-\frac{1}{2} \\ &= \frac{1}{2}\{(x+3)^2-3^2\}-\frac{1}{2} \\ &= \frac{1}{2}(x+3)^2-5 \end{aligned}$$

と変形できる。

よって、求めるグラフは

軸が直線 $x=-3$ 、頂点が点 $(-3, -5)$ の下に凸の放物線である。

また、グラフは y 軸と点 $(0, -\frac{1}{2})$ で交わるから、上の図のようになる。



6 2 次関数 $y=2x^2-4x+5$ のグラフをどのように平行移動すると、2 次関数 $y=2x^2+8x+15$ のグラフになるか。 [図]

[解] $y=2x^2-4x+5$ より $y=2(x-1)^2+3$ ①

$y=2x^2+8x+15$ より $y=2(x+2)^2+7$ ②

よって、①の頂点は点 $(1, 3)$ 、②の頂点は点 $(-2, 7)$ である。

したがって、①のグラフを **x 軸方向に -3、 y 軸方向に 4 だけ平行移動**すれば、②のグラフになる。

